

アンケート調査に基づく 現代簿記論の研究

日本簿記学会 令和5・6年度 簿記理論研究部会
中間報告

2024年8月31日（土）
第40回日本簿記学会全国大会
神戸大学

1

部会メンバー

委員

市川紀子・部会長	駿河台大学	井上定子	兵庫県立大学
小形健介	大阪公立大学	小野正芳・事務局	日本大学
首藤洋志	文教大学	仲尾次洋子	名桜大学
中村亮介	筑波大学	西山一弘	帝京大学
菱山淳	専修大学	苗馨允	椋山女学園大学
宮川宏	専修大学	吉田智也	中央大学

オブザーバー

坂上学	法政大学	角ヶ谷典幸	一橋大学
新田忠誓	一橋大学名誉教授	原俊雄	横浜国立大学

研究協力者

石光裕	京都産業大学	橋本武久	京都産業大学
-----	--------	------	--------

2

本報告の目次

- 1 本研究部会の目的と研究方法
- 2 本研究部会の開催実績と予定
- 3 先行研究
- 4 アンケート質問項目の設定
- 5 アンケートの紹介
 - 5-1 アンケートの視点と構成
 - 5-2 第1部 簿記教育に関する質問
 - 5-3 第2部 簿記研究に関する質問
 - 5-4 第3部 回答者のデモグラフィックス
- 6 アンケートご協力をお願い

3

1 研究部会の目的と研究方法

□ 目的：以下の疑問について調査・検討すること。

- 1 現代における「簿記」とは何か？
- 2 それは「会計」とはどのように違うのか？
- 3 簿記離れは起きているのか？
- 4 簿記離れが起きているならばそれは何故か？

日本簿記学会簿記理論研究部会[2012]の展開を目指す。

- ✓時間の経過・環境変化による「簿記」と「会計」の境界に関するコンセンサスの変化を明らかにする。
- ✓簿記の学習者が減少していると思われる状況（簿記離れ）の原因と解消方法を明らかにする。

□ 研究方法：アンケート調査

□ 研究の貢献：他の会計系の学会との差別化

4

2 本研究部会の開催実績と予定①

- 第1年度：アンケートの作成
 - ✓ 先行研究の調査：第02回～第05回
 - ✓ アンケート質問項目の設定：第03回～第08回
 - ✓ アンケート実施方法の検討：第08回～第09回
- 第2年度：アンケートの実施と分析
 - ✓ 11月～12月：アンケート調査の実施
 - ✓ 1月～3月：アンケートの全体分析
 - ✓ 4月～7月：個別論点の研究

5

2 本研究部会の開催実績と予定②

回数	年月日	開催校	報告論題等
1	23.9.13	筑波大学	市川紀子「第1回研究部会について」
2	23.11.5	一橋大学	角ヶ谷典幸「簿記と会計の関係性と(学際的)簿記研究の可能性」
3	23.12.10	法政大学	新田忠誓「企業複式簿記が誘導する会計等式」 坂上学「テキストマイニングの基礎」 アンケート質問事項の検討① (各委員より質問事項の提案)
4	24.2.18	日本大学	中村亮介「英文学術雑誌における近年の簿記研究」 アンケート質問事項の検討② (説明変数と被説明変数の整理) 研究倫理審査申請書の検討①
5	24.4.7	中央大学	吉田智也「簿記と会計との境界―一連結財務諸表の作成は、簿記か会計か?―」 中村亮介「アンケート調査について」 研究倫理審査申請書の検討②
6- プレ	24.4.11	Zoom	坂上学「共分散構造分析の大雑把な解説」 アンケート質問事項の検討③ (アンケートへの追加質問)

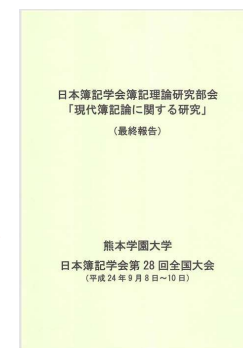
2 本研究部会の開催実績と予定③

回数	年月日	開催校	報告論題等
6	24.4.28	大阪公立大学	橋本武久「『現代簿記論研究』の着想と意義：質問項目とインタビューの選定を中心に」 中村亮介「アンケート本体について」 小形健介「パス図について(仮説、危機感、満足度)」 市川紀子「パス図について(簿記と会計の境界)」 アンケート質問事項の検討④ (質問事項の精査) 研究倫理申請書の検討③
7	24.6.9	専修大学	ブレーンストーミング アンケート質問事項の検討⑤ (質問事項の精査)
8	24.7.7	椋山女学園大学	アンケート質問事項の検討⑥ (質問事項の精査) 中間報告に向けた準備①
9- プレ	24.7.8 ～8.3	メール	アンケート実施形態検討 (Google Form)
9	24.8.4	文教大学	アンケート質問事項の検討⑦ (質問事項の精査) 中間報告に向けた準備②

7

3 先行研究①

- 複式簿記に対する理解・認識の変化 (中野[2007] i 頁)。
→当部会で、**簿記の範囲 (簿記と会計の境界) に関するコンセンサス**を探る。
- 簿記のあるべき姿 (日本簿記学会簿記理論研究部会 [2012]4頁) を明示すべき。
→当部会で、**簿記が何を扱うべきか、簿記学会が貢献できる領域**は何かを探る。
- 簿記と会計の関係の整理、隣接学問への働きかけ (角ヶ谷[2022]1-2頁)。
→当部会で、教育と研究の側面から両者の関係についてさらに検討し、**簿記 (学会) のアイデンティティを確立するために必要な検討事項**を整理する。

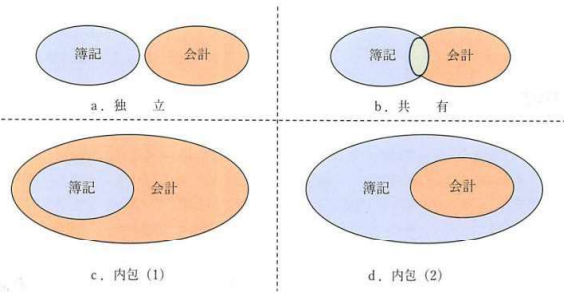


8

3 先行研究②

□ 平野・吉田[2023]2頁。

> 簿記と会計との境界（関係）のありかた（cf.角ヶ谷（2022）「独立説」と「一体説」）



→この関係をベースに「簿記」と「会計」の境界に関する認識を
探る。

□日本簿記学会第28回(2012年)全国大会・統一論題
「簿記離れと簿記の可能性」

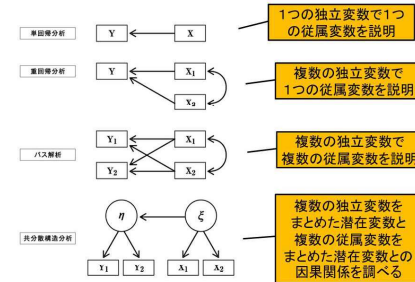
→簿記離れから生じる影響を検討する。

4 アンケート質問項目の設定①

□ パス図の作成(坂上 [2024] 10,18)

回帰分析、パス解析、共分散構造分析の大まかな違い

パス図を作成する際の注意点

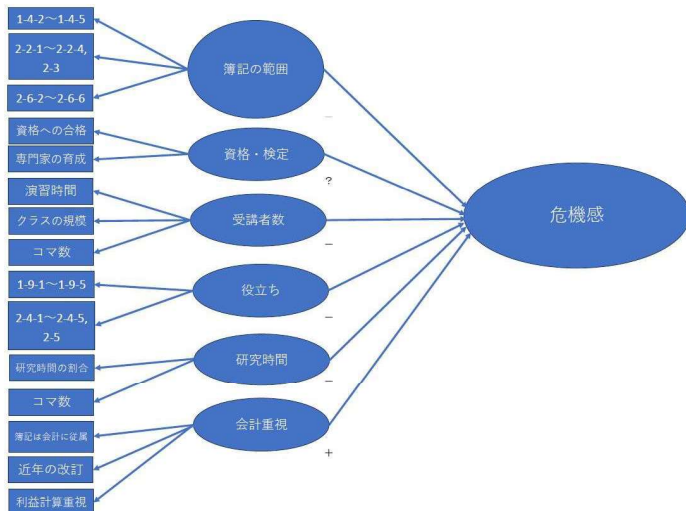


- 見えない変数(潜在変数・因子)をモデルに取り入れることが可能。このような因子をどのように設定していくべきかは難しい問題。
- 比較的自由に仮説モデルを作成し、検証をしていくことができるが、このようなモデルはパス図とアイデアを相互に翻訳しながら作成していく必要がある。
- 結果を見てそれを解釈し、仮説モデルに修正を加えていくという作業を正しく行うことは容易ではない。
- よって、分析者がモデル作成・モデル解釈において優れた仮説構築力・洞察力・センスを持っている必要性があり、統計的知識も必要となる。

4 アンケート質問項目の設定②

□ 説明変数と被説明変数の確定ーパス図の作成ー

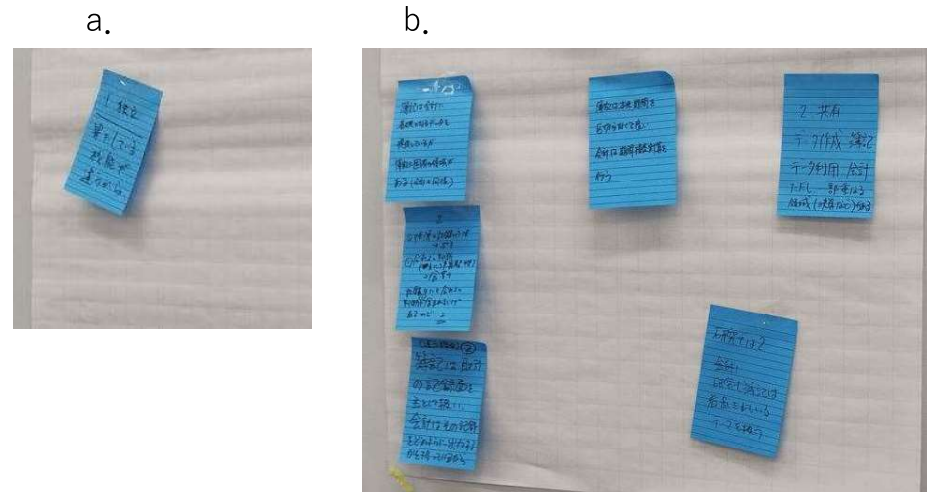
✓被説明変数：危機感・満足度（第6回研究会：小形報告より）



4 アンケート質問項目の設定③

□ ブレインストーミングの実施

✓簿記と会計の境界

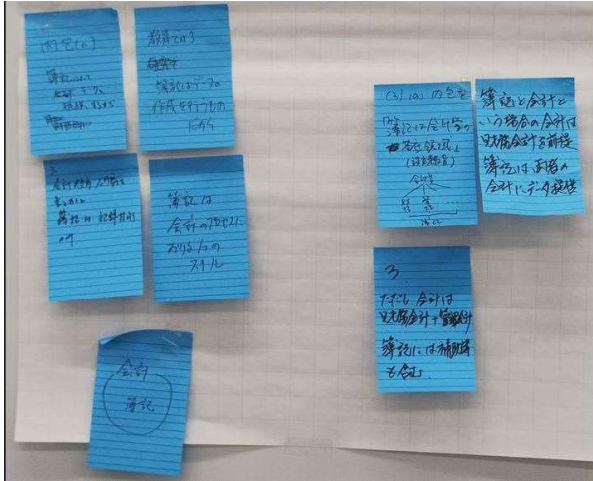


4 アンケート質問項目の設定④

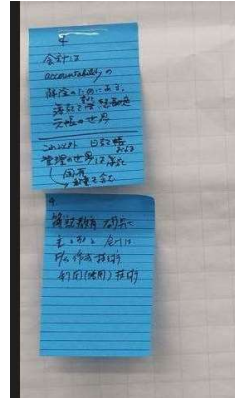
□ ブレインストーミングの実施

✓ 簿記と会計の境界

c.



d.

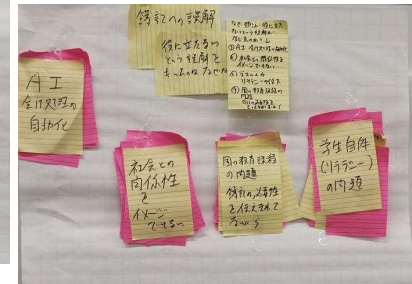
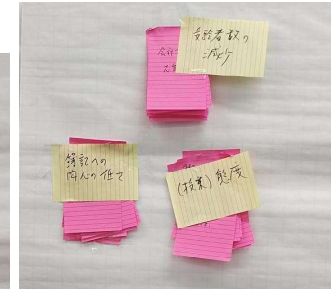
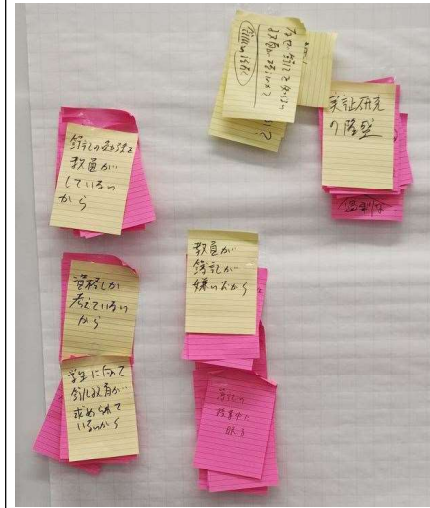


13

4 アンケート質問項目の設定⑤

□ ブレインストーミングの実施

✓ 簿記離れ



14

5-1 アンケートの視点と構成

□ 視点

- ・ 簿記教育・簿記研究の観点から、「簿記」と「会計」の境界を探る
- ・ 簿記教育・簿記研究の観点から、簿記離れの要因等を探る

□ 構成

- 第1部 簿記教育に関する質問
- 第2部 簿記研究に関する質問
- 第3部 回答者のデモグラフィックス

15

5-2 第1部 簿記教育に関する質問①

□ 質問項目設定の視点 (第9回研究会：中村・宮川作成)

- ・ 簿記教育に対する満足度・簿記嫌いの心配度
- ・ 簿記嫌い・簿記好きの原因
- ・ 簿記の範囲
- ・ 簿記教育上の簿記と会計の関係
- ・ 簿記教育上、何を目的とするか
- ・ 簿記教育の内容
- ・ 簿記教育と利益計算の考え方
- ・ 簿記教育と会計基準の改訂の関係
- ・ 簿記教育に影響を与える要因
- ・ 簿記教育上の工夫やエピソード

16

5-2 第1部 簿記教育に関する質問②

問1 あなたは、「簿記教育」（あなたや簿記学会の会員が行っている簿記講義の内容や水準）にどの程度満足していますか。評価基準（1～5）のうち該当する数字を1つ選択してください。

1 2 3 4 5
全く満足していない ○ ○ ○ ○ ○ 非常に満足している

問2 あなたは、学生の「簿記嫌い」（簿記離れ）をどの程度心配していますか。評価基準（1～5）のうち該当する数字を1つ選択してください。

1 2 3 4 5
全く心配していない ○ ○ ○ ○ ○ 非常に心配している

17

5-3 第2部 簿記研究に関する質問①

□ 質問項目設定の視点（第9回研究会：中村・宮川作成）

- ・ 簿記研究に対する満足度
- ・ 簿記研究離れの心配度・原因
- ・ 簿記研究に対する評価
- ・ 簿記研究の役立ち
- ・ 簿記研究の内容
- ・ 簿記研究上の簿記と会計の関係

18

5-3 第2部 簿記研究に関する質問②

問1 あなたは、「簿記研究」（簿記学会の会員が行っている簿記研究の内容や水準）にどの程度満足していますか。評価基準（1～5）のうち該当する数字を1つ選択してください。

1 2 3 4 5
全く満足していない ○ ○ ○ ○ ○ 非常に満足している

問2 あなたは、研究者や簿記学会の会員の「簿記研究離れ」（簿記研究を行う者が少ないこと）をどの程度心配していますか。評価基準（1～5）のうち該当する数字を1つ選択してください。

1 2 3 4 5
全く心配していない ○ ○ ○ ○ ○ 非常に心配している

19

5-4 第3部 回答者のデモグラフィックス

問1 あなたの性別について、該当する数字を1つ選択してください。

- 男性
- 女性
- その他: _____

問2 あなたの現在の満年齢について、該当する数字を1つ選択してください。

- 1～20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80代～

20

6 アンケートご協力のお願い①

□実施案内

下記の方法で、アンケート実施のご案内をお知らせする予定です。

- ▶ 郵送
- ▶ 学会HPでの告知
- ▶ メールでの送信等

□実施方法

10月以降、Googleフォームにて実施予定です。

ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

21

6 アンケートご協力のお願い②

□ 学会へのアンケート調査に関する諸手続

- ✓ 日本簿記学会学会長に申請
- ✓ 「アンケート調査のご協力のお願い—学会員の名簿情報の使用について—」提出
- ✓ 2024年8月承諾

□ アンケート調査に関する研究倫理審査の諸手続

- ✓ 駿河台大学 研究倫理審査委員会に申請
- ✓ 「研究倫理審査申請書（人を対象とする研究用）」
「研究計画書」「研究参加者・被験者等への説明文書」「調査票・アンケート要旨」提出
- ✓ 2024年8月承諾

22

参考文献等

坂上学 [2024] 「共分散構造分析の大雑把な解説」本学会第6回研究会プレ。

角ヶ谷典幸[2022] 「簿記と会計の関係性と(学際的)簿記研究の可能性」

『簿記研究』第5巻第1号、1-8頁。

中野常男編[2007] 『複式簿記の構造と機能』同文館出版。

日本簿記学会簿記理論研究部会[2012]平成22・23年度(橋本武久部会長)

「現代簿記論に関する研究(最終報告)」日本簿記学会。

日本簿記学会[2013] 「統一論題報告テーマ『簿記離れと簿記の可能性』」

『日本簿記学会年報』日本簿記学会、19-42頁。

平野智久・吉田智也[2023] 「簿記と会計との境界：連結財務諸表の作成は

簿記か会計か？」日本簿記学会第39回全国大会自由論題報告。

23

ご清聴ありがとうございました

24